

センター活動報告

平成 25 年度大学 大学教育センター活動報告

1. 組織など

平成 24 年度より、下記のような人員構成で運営している。

センター長：副学長（教育担当理事）

副センター長：専任教員（大学教育センター）

専任教員：4 名（上記 1 名を含む）

兼務教員：工学研究院 3 名，農学研究院 3 名，入学試験委員会 1 名，

教育・学生生活委員会 2 名（両学部教育委員長），学務部長，教育企画課長

大学教育センターの運営は、学務部教育企画課と連携して行っている。大学教育センターの部門制（アドミッション部門，教育プログラム部門，教育評価・FD部門）は廃止され，引き継いだ業務については，全体で対応している。

2. 活動目標と事業計画

2. 1 目標

平成 25 年度は、次のような目標を立て活動を行った。

(1) 教育評価・改善のためのデータ収集と分析

全科目実施の授業アンケートなどにより教育成果の検証を行い，教育改善に関する提言を行うためのデータの収集と分析を行う。

(2) 入試広報の企画及び実施

大学教育センターと教育企画課が協力し，各学部・専攻と連携することにより，戦略的な入試広報を推進する。また，新学習指導要領に伴う入試体制・出題体制に関する資料提供を行うと共に，一般選抜入学者の質的レベルの維持・向上策を検討する。

(3) 教育理念に基づいた教育環境の整備

「高度専門職業人の育成」という人材養成目標が実現できるようカリキュラムや教育環境の整備を行う。

2. 2 事業計画

上記の目標に対し，次のような事業計画を立て，実施した。

(1) シラバス・授業評価・成績分布データ・学生生活実態調査・TAT 調査・英語標準テスト等を総合的に活用して，学生の学習時間・学力等の教育成果の検証を引き続き実施する。また，2012 年度に作成した全科目対象の授業アンケートを実施する。アンケート結果のフィードバックのあり方について，引き続き学内的な議論をすすめる。

(2) 学部及び大学院の新入生へのアンケートを改善実施し，報告書を作成する。また，学部三年生の保護者を対象にしたペアレンツ・デーを昨年度に引き続き実施し，アンケートの結果を今後の入試広報活動に活用する。学外進学相談会・入試広報に関する Web や SNS の改善を継続的に行う。入試課と連携し，入試体制の点検・見直しを行うと共に，入学データ・学業データの調査分析等の方策を引き続き検討する。

(3) 学生生活実態調査の結果に基づいて，教育環境の点検・整備を行う。

3. 活動報告

(1) 教育評価・改善のためのデータ収集と分析

- ・すべての授業を対象とした授業アンケートを実施し、報告書を作成すると共に教授会等で報告を実施した。
- ・授業アンケート検討WGを立ち上げ、授業アンケートの目的、アンケート項目の修正、フィードバックのあり方について議論した。教育・学生生活委員会でアンケート提案し、2014年前期から新しい体制で実施予定である。
- ・本年度実施の認証評価に対応して、データの収集や資料提供を実施し、原案の作成に協力した。
- ・授業外学修時間を調査し、FDシンポジウムで改善策を探った。
- ・シラバスおよびシラバス・ガイドラインを改定し、到達目標が明確になるようにした。また、記載状況を教育・学生生活委員会で公表し、部局での改善を求めた。
- ・認証評価に対応して、成績分布調査を行い、問題のある部局からは、詳細な説明を求めた上で、改善努力の確認を行った。
- ・学生生活実態調査に基づき、カリキュラムに対する満足度、学生生活上の問題点等を部局にフィードバックした。
- ・TAT調査を行い、学生の高い満足度が得られたため、次回のカリキュラム改定においても、継続することを確認した。

(2) 入試広報の企画及び実施

- ・学部及び大学院の新入生に対するアンケートの調査項目に改訂を加え実施し、報告書を作成し、教授会等で報告した。
- ・「進路指導教員・理数教員対象進学説明会」を5・6月に実施し、小金井会場148名、府中会場44名の計192名の高校教員が参加した。
- ・理数系女子教育支援プログラムを実施し、「研究室訪問・実験体験」には女子高校生82名、保護者31名の計113名、「教育シンポジウム」には教員等30名、「キャリア講演会・サイエンスカフェ」には女子中高生38名、保護者29名、教員2名の計69名が参加した。
- ・本学保護者対象（主に3学年の保護者）のペアレンツ・デーを実施し、昨年度より10%ほど多い568名の参加者があった。
- ・工学部夏、秋の学部説明会で相談ブースを設置し、入試、進学相談対応を行った。
- ・ペアレンツ・デーの配布資料として在学生と高校生の保護者向け広報誌「TUAT Express」を新規に作成し、ペアレンツ・デーで配布すると共に、本学の入試広報資料としての活用も図った。
- ・昨年度組織した入試広報検討WG及び本学大学院生と連携して、本学受験生向け広報冊子「わかる!!農工キャンパスライフ～学生生活紹介冊子～」を作成し、高校生・保護者等に配布した。
- ・入試広報検討WG及び教育企画課と連携して、20か所の外部会場での講演・大学説明を実施した。（対象高校生数（保護者を含む）：866名）
- ・首都圏中心に28の高校内開催の説明会に参加し、講演・大学説明を実施した。（対象高校生数：971名）
- ・受験生向けFacebookを継続的に運用すると共に、メールマガジンを高校生・受験生向けに内容を変更し、9月より新規に運用を開始した。
- ・過去5年間の東京農工大学志願者、合格者の出身都道府県、在籍高校データの集計、分析を行い、入試関係委員会で報告した。
- ・「外国人留学生対策WG」（国際センター、国際交流課主催）メンバーとして参加し、外国人留

学生向け WEB 制作，イベント参加等の入試広報施策の検討に協力した。

(3) 教育理念に基づいた教育環境の整備

・大学教育センターに係る中期目標・中期計画の平成 25 年度計画進捗状況について報告を行った。また，平成 26 年度計画を作成した。

・入学データ，学業データの一元管理の方策を検討し，「総合学生データベース」を作成した。

・学生生活実態調査の結果に基づき，無線 LAN 環境の整備，図書館における自習環境の整備を提案した。

・認証評価・グローバル人材育成事業の一環として，各科目に科目コードを振る作業（ナンバリング）を開始した。

(4) その他

・入試課と連携し，新学習指導要領に対応した入試の検討に関する資料作成を行い，各学部・学科で説明を行った。また，学力検查出題WGに対する資料作成・運営に協力した。

・2013 年 4 月 17 日に府中キャンパス 50 周年記念ホールにおいて，平成 25 年度新任教員研修会を開催した。平成 24 年 5 月～平成 25 年 4 月までに本学に着任した 25 名（教育職員 17 名，技術職員 1 名，事務職員 7 名）が参加した。

・TA セミナーを小金井地区，府中地区で実施した。2 会場をあわせ 403 名の TA 学生が参加した。小金井キャンパスでは，前半は生命・化学系，後半は機械・電気・物理・情報系の専攻別に分かれて行われ，府中キャンパスではすべての専攻が同一の内容を受講した。

・Global Cafe オープン記念式典を実施し，留学生を含む学生など関係者約 50 名が参加した。

・教育企画課と連携して学生系事務職員の SD 研修を開催し，学生系事務職員を中心に 38 名の参加があった。

平成 25 年度大学教育センター活動一覧

月	日	委員会など	学内活動（シンポジウム・セミナーなど）
4	10		前期TAセミナー（小金井：工学府・BASE）
	11		Global Cafe オープン記念式典
	16		前期TAセミナー（府中：農学府）
	17	入学試験委員会	平成 25 年度新任教職員研修会
	24	教育・学生生活委員会	
	25	入試広報WG	
5	22	教育・学生生活委員会	
	23	大学教育センター運営委員会	
	25		進路指導教員・理数系教員対象進学説明会（小金井）
6	4	入試広報WG	
	5	ペアレンツ・デーWG	
	10	全学共通教育機構運営委員会	
	12	学生生活冊子WG	
	13	入試広報小委員会	

	17		(17～18日 岩手・秋田県高校訪問)
	21		The 1 st Global Extension @Global Café Fuchu
	26	教育・学生生活委員会 ペアレンツ・デーWG	
	29		進路指導教員・理数系教員対象進学説明会（府中）
7	3	入試広報WG	
	4	入試広報小委員会	
	12	大学教育センター運営委員会	
	24	教育・学生生活委員会	
	29	全学共通教育機構運営委員会	
	31		理数系女子支援プログラム1（研究室訪問と実験体験）
8	5		理数系女子支援プログラム1（研究室訪問と実験体験）
9	10	教育・学生生活委員会	
	18	入学試験委員会	
10	1	入試広報小委員会	
	10	入試広報WG	
	11	大学教育ジャーナル編集委員会	
	19		理数系女子教育シンポジウム
	23	教育・学生生活委員会	
11	4		理数系女子（キャリア講演会・サイエンスカフェ）
	20	入学試験委員会	
	23		ペアレンツ・デー（学部3年生保護者対象）
	27	教育・学生生活委員会	
	28	授業アンケート検討WG	
12	3	入試広報小委員会	
	17		SD研修会
	25	教育・学生生活委員会	
1	22	教育・学生生活委員会	
	23	教育TF	
2	5	ペアレンツ・デーWG	
	15	教育・学生生活委員会	
	19	入学試験委員会	
	26	教育・学生生活委員会	
	28		FDシンポジウム「教学データを活用した教育改善活動（FD）の取り組み」
	6	入試広報小委員会	
3	26	教育・学生生活委員会	FDシンポジウム「授業外学修時間の推進に向けて」

專任教員活動報告

1. 氏名

佐藤友久

2. メイン業務, 役職

理科教育, 化学教育, 副センター長, 教授

3. 研究活動

(1) 著書 (単著, 共著, 編著)

・特になし

(2) 論文 (学術論文, その他の雑誌論文等)

・吉田工, 加藤優太, 佐藤友久,

全国理科教育大会兵庫大会研究発表論文 (資料) 集 (第 35 巻), 2012, pp.86-89

(3) その他著作物 (報告書・訳書)

・「理数系女子教育シンポジウム」東京農工大学大学教育ジャーナル第 10 号 (印刷中)

・「平成 25 年度 進路指導教員・理科教員対象進学説明会」報告書

(4) 学会発表など

・吉田工, 加藤優太, 佐藤友久 (2013) 「教室で実験しよう 4 演示実験で学ぶ有機化学～芳香族の官能基編～」全国理科教育大会 (2013 年 8 月関西学院大学・兵庫県立西宮高等学校)

(5) 講演等 (FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

・理数系教員研修: 東京都教育委員会との連携 (2013 年 8 月)

① 「高分子を中心とした有機材料」 (会場: 東京農工大学)

② 「不斉合成化学」 (会場: 東京農工大学)

③ 「高校化学: 化学結合に関する指導と実験」 (会場: 東京都立青山高等学校)

・日本化学会関東支部化学教育協議会 第 18 回理科・化学教育懇談会フォーラム (講演) 「沸騰した水から生じる泡は—大学から見る理科教育」 (佐藤友久)

・高等学校, 予備校での大学説明会 21 校で実施

・東京農工大学での大学説明・キャンパスツアー対応 8 校

4. 教育活動

・前期「化学」農学部

5. 学内活動 (委員等)

・入学試験委員会 委員

・教育, 学生生活委員会 委員

・全学計画評価委員会 委員

・役員, 学内施設長懇談会 委員

・入試広報小委員会 委員長

・大学教育センター運営委員会 委員

・ゼミナール入試委員会 (農学部) 委員

・入試企画委員会 (工学部) 委員

・広報戦略委員会 (工学部) 委員

- ・入試制度研究委員会（農学部） オブザーバー
6. 社会活動（学会等）
- ・東京都理科教育振興委員会 委員長
 - ・東京都立富士中・高等学校 学校運営連絡協議会委員
7. 獲得研究費など
- ・特になし
8. その他（他大学非常勤講師など）
- ・特になし

1. 氏名

吉永 契一郎

2. メイン業務, 役職

カリキュラム・教育評価

認証評価・学生生活実態調査・成績分布調査・科目ナンバリング・三つのポリシー・授業外学習時間調査・シラバス・チェック・シラバスガイドライン改定・到達基準設定, 准教授

3. 研究活動

(1) 著書(単著, 共著, 編著)

・吉永契一郎・堀井祐介・中島英博『ヨーロッパにおける大学教育の多様性と統合』広島大学高等教育研究開発センター・高等教育研究叢書 第119号、全86頁。

(2) 論文(学術論文, その他の雑誌論文等)

・吉永契一郎「アメリカの大学におけるリーダーシップ開発の実際」科学研究費補助金 基盤研究(B)最終報告書(研究代表者 夏目達也)、99-118頁。

・吉永契一郎「東京農工大学における教養・共通教育の変遷」大学教育学会課題研究「共通教育のデザインとマネジメント」報告書、33-39頁。

(3) その他著作物(報告書・訳書)

・吉永契一郎「共通教育の新段階」『大学教育学会誌』、第35巻、第1号、32-33頁。

(4) 学会発表(国際会議, 国内学会発表)

国際会議

・なし。

国内会議

・吉永契一郎「理工系単科大学における共通教育の展開」、大学教育学会第35回大会発表要旨集録、160-161頁。

・吉永契一郎・堀井祐介・中島英博「ボローニャ・プロセスが明らかにするドイツの大学教育の特性と課題」、日本高等教育学会第16回大会発表要旨集録、169-172頁。

・吉永契一郎「大学の組織構造と役職者のリーダーシップに関する日米の比較考察」、日本比較教育学会第49回大会発表要旨集録、48頁。

(5) 講演等(FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

吉永契一郎「ディプロマ・ポリシー」農学部・工学部新入生オリエンテーション

- ・吉永契一郎「授業外学習時間の実態と課題」平成25年度大学教育センターFDシンポジウム
- ・吉永契一郎「理工系大学における高度教養教育への視座」京都三大学教養教育研究・推進機構 公開研究会

4. 教育活動

- ・農学部後期「比較共生文化論」

5. 学内活動(委員等)

- ・教育・学生生活委員会
- ・大学情報委員会
- ・農学部教育委員会
- ・第6回学生生活実態調査
- ・平成25年度大学機関別認証評価委員会・作業部会
- ・グローバルイノベーション海外セミナー(トルコ)
- ・TAT検討委員会

6. 社会活動(学会等)

- ・大学教育学会理事
- ・大学教育学会学会誌編集委員

7. 獲得研究費

- ・研究代表:科学研究費補助金 基盤研究(C)(一般)「ユニバーサル段階におけるヨーロッパの学部専門教育の変容」
- ・研究連携:科学研究費補助金 基盤研究(A)(一般)「21世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究(代表者 有本 章)」

8. その他

- ・なし。

1. 氏名

藤井 恒人

2. メイン業務, 役職

入試広報, 准教授

3. 研究活動

(1) 著書(単著, 共著, 編著)

・特になし

(2) 論文(学術論文, その他の雑誌論文等)

・特になし

(3) その他著作物(報告書・訳書)

・「農工大入試広報のための基礎データの整備ー過去5年間の都道府県別志願, 合格者状況ー」『大学教育ジャーナル』, 第10号, 85-91頁.

・「『ペアレンツ・デー』参加者アンケートの分析」『大学教育ジャーナル』, 第10号, 92-96頁.

(4) 学会発表(国際会議, 国内学会発表)

国際会議

・特になし

国内会議

・特になし

(5) 講演等(FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

・「データから見る本学学生の状況」平成25年度新任教職員研修会, 2013年4月

・「東京農工大学の入試, 学習・教育, 進学・就職状況」進路指導教員・理数系教員対象 第1回進学説明会, 2013年5月

・「東京農工大学の入試, 学習・教育, 進学・就職状況」進路指導教員・理数系教員対象 第2回進学説明会, 2013年6月

・「理系女子の大学進学, 進路選択」理系女子進路選択支援プログラム「研究室訪問と実験体験プログラム」保護者向け講演, 2013年7月

・「理系女子大生の, 進路, 就職」理系女子進路選択支援プログラム「キャリア講演会・サイエンスカフェ」保護者向け講演, 2013年11月

・「新入生に関するIR情報の教育活動への活用」大学教育センターFDシンポジウム, 2014年2月

4. 教育活動

・学外進学相談会

- 「高校教諭対象推薦・一般入試説明会」NSビル, 2013年5月
- 「大学進学相談会2013」京葉銀行文化プラザ, 2013年6月
- 「Benesse進学フェア2013」愛知県体育館, 2013年6月
- 「全国国公立・有名私大相談会 in 大阪」大阪国際会議場, 2013年7月
- 「全国国公立・有名私大相談会 in 名古屋」名古屋国際会議場, 2013年8月
- 「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校町田校, 2013年10月
- 「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校あざみ野校, 2013年10月
- 「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校大宮校, 2013年11月
- 「秋季大学入試ガイダンス」河合塾立川校, 2013年11月
- 「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校横浜校, 2013年11月
- 「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校津田沼校, 2013年12月

・高校内進学相談会

東京電機大学高校, 青稜高校, 桐朋女子高校, 県立相模原高校, 白鷗高校, 順天高校, 東京学芸大附属国際中等教育学校, 両国高校, 東京大学教育学部附属中等教育学校, 錦城高校, 拓殖大学第一高校, 日本大学第二高校, 東京都市大学等々力高校

・高校見学訪問対応

福島成蹊高校, 栃木高校, 小山台高校, 西武学園文理高校, 開智高校

・学部説明会(工学部)進学相談対応

5. 学内活動(委員等)

- ・教育・学生生活委員会 委員
- ・入学試験委員会 オブザーバー
- ・入試広報小委員会 委員
- ・工学府・工学部広報戦略委員会 委員
- ・工学府・工学部入学試験・企画委員会 委員
- ・農学部教授会 オブザーバー
- ・入試広報検討ワーキング 委員
- ・外国人留学生対策ワーキング 委員
- ・教育企画タスクフォース 委員

6. 社会活動(学会等)

- ・特になし

7. 獲得研究費

- ・特になし

8. その他

- ・特になし

センター運営委員会議題

平成 25 年度大学教育センター運営委員会議題

第 25-1 回大学教育センター運営委員会議事要旨

1. 日 時 平成 25 年 5 月 23 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 40
2. 場 所 大教センター小金井分室
3. 出席者 国見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、下村、三沢、中村、
下田、上野、佐藤、今井の各委員、(陪席者) 小宮教育企画係長
4. 議 題
 - 1) 議事要旨の確認
第 24-4 回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第 24-4 回運営委員会の議事要旨(案)について、原案のとおり承認した。
 - 2) 審議事項
 - (1) 平成 25 年度センター組織について(資料 1-1、1-2)
資料 1-1 に基づき、運営委員会のメンバーを確認した。引き続き資料 1-2 に基づき、国見委員長から運営規則について説明があった。
 - (2) 大学教育ジャーナル編集委員会について(資料 3-1、3-2)
国見委員長から、資料 3-1 に基づき、大学教育ジャーナル編集長の任期を従来の 3 年から 2 年へと変更する改正案について説明があり、承認した。
また、資料 3-2 を基づき、今年度の委員長を藤井先生とする案について説明があり、承認した。続いて、兼務教員からの編集委員 3 名について審議し、工学研究院から中村委員、下村委員、農学研究員から下田委員を選出した。
 - (3) 平成 25 年度センター運営方針について(資料 4-1、4-2、4-3)
佐藤副センター長から、資料 4-1 に基づき、高校からのキャンパスツアーの対応改善案について説明があった。学部で対応する高校以外にも、大教センターで対応した方が良いと判断した高校については、研究室見学の際に兼務教員の研究室にて簡単な研究室説明をしていただくよう協力を依頼し、了承された。
続いて、資料 4-2 に基づき、佐藤副センター長から大教センターのミッションについて説明があった。(1)「教育評価・改善のデータ収集と分析、計画と実施」、(2)「入試広報の企画及び実施」、(3)「教育理念に基づいた教育環境の整備」といった 3 つのミッションについて、今後兼務教員の希望を聞きながら、ミッション毎に農学研究員・工学研究院から各 1 名に協力いただくこととした。
 - (4) 平成 25 年度ペアレンツ・デー(案)について(資料 5)
佐藤副センター長から、資料 5 に基づき平成 25 年度ペアレンツ・デーの実施案について説明があった。平成 25 年度も昨年度に引き続き、午前中に全体会をルミエール府中で実施し、農学部は徒歩、工学部はバスで各キャンパスに移動することとした。午後のプログラム内容(開始時間含む)については、学部で検討を依頼することとした。
 - 3) 報告事項
 - (1) 大教センター予算について(資料 6)
事務から、資料 6 に基づき、大教センター関係予算の平成 24 年度執行状況及び、平成 25 年度の予算について報告があった。
 - (2) 理数系女子進路選択プログラムについて(資料 7)
佐藤副センター長から、資料 7 に基づき、理数系女子進路選択プログラムの実施案について報告があった。
今年度も昨年度同様に 3 事業を予定しており、講演講師やシンポジウムへの出席、部局での周知等、各委員に協力を依頼した。
 - (3) 平成 25 年度「進路指導教員・理数系教員対象進学説明会」について(資料 8)
佐藤副センター長から、資料 8 に基づき、平成 25 年度「進路指導教員・理数系教員対象進学説明会」について報告があった。工学部で 5 月 25 日に実施予定の説明会には 150 名を超

える応募があり、6月には農学部で同内容の説明会の実施を予定している。

(4) 平成 25 年度前期 T A セミナーについて (資料 9)

加藤委員から、資料 9 に基づき、平成 25 年度前期 T A セミナーの実施状況について報告があった。

(5) 平成 25 年度新任教職員研修会プログラム (資料 10)

加藤委員から、資料 10 に基づき、平成 25 年度新任教職員研修会プログラムの実施状況について報告があった。従来は新任教員を対象として本研修会を行っていたが、今年度から新任の事務職員、技術職員も参加し、総勢 25 名で実施した。

(6) 平成 25 年度「地 (知) の拠点整備事業」計画について (資料 11)

国見委員長から、平成 25 年度「地 (知) の拠点整備事業」計画の申請概要、組織体制について報告があり、大学教育センターの改組について、今後検討していくこととした。

(7) 専任教員からの報告について (大学教育ジャーナル No. 9)

佐藤副センター長から、大学教育ジャーナル No. 9 に基づき、昨年度の大教センターの事業実績等について報告があった。

第 25-2 回大学教育センター運営委員会議事

1. 日 時 平成 25 年 7 月 12 日 (金) 10:30 ~ 11:30

2. 場 所 府中地区学生系事務棟 会議室 B

3. 出席者 国見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、下村、三沢、中村、下田、上野、今井の各委員

(陪席者) 小宮教育企画係長

4. 議 題

1) 議事要旨の確認

第 25-1 回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について

第 25-1 回運営委員会の議事要旨 (案) について、原案のとおり承認した。

2) 審議事項

(1) 兼務教員の役割分担について (資料 2)

資料 2 に基づき、兼務教員の役割分担について確認し、了承した。

(2) 国立大学法人東京農工大学大学教育・地域連携センター運営規則 (改正案)

平成 25 年度「地 (知) の拠点整備事業」計画が採択された場合、大学教育センターを大学教育・地域連携センターに改称するとともに、運営規則を改正する案について説明があり、了承された。

編集方針・投稿規程
教育データの扱いに関して

編集方針・投稿規程

編集方針

大学教育についての、調査・研究・実践を全学で共有化し、教育改善を進めるための教育論文・報告・提言を掲載する。特に、東京農工大学における、具体的な課題の解決に向けた取り組みを重視する。また、大学教育センターの年間活動履歴も掲載する。

投稿規程

- ・発行は、年1回、3月とする。
- ・投稿資格は、東京農工大学教職員、学外者の場合は、原稿依頼者とする。
- ・編集委員会は、大学教育センター運営委員から選出する。
- ・毎年、10月に、投稿希望者を全学から募集すると同時に、編集会議を開く。
- ・投稿は、編集委員または編集委員会が推薦する者による査読を経た上で、掲載する。
- ・投稿者には、20部の抜き刷りを進呈する。

教育データの扱いに関して

『大学教育ジャーナル』は、教育に関する知見を共有するために、自由で開かれた議論を原則としています。同時に、その公共性や個人情報・著作権保護も考慮し、アンケートや学務データ、画像の使用、出版物からの引用については、以下の指針を守って下さい。

- ・アンケートやインタビュー等による個人情報に関わるデータの収集については、収集目的や活用方法について対象者の同意を得た上で、公表に際して研究倫理委員会の了解を得る。
- ・個人が特定されない学務データ（成績分布・利用者数・単位取得率・卒業率・志願者数・評価結果・就職先等）については、関連する部局の了解を得る。
- ・教育データの利用に関して、提供者から了解が得られた場合でも、大学及び大学関係者の利害について配慮する。
- ・写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。もしくは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- ・著作権保護の観点から、テキスト等に使用されている図・グラフをそのままの形で掲載しない。
- ・既存の研究からの引用・借用である場合には、本文・注等において、その旨を明記し、参考文献に記載する。

『大学教育ジャーナル』は編集委員による査読体制を取っており、編集時に、教育データの扱いに関して適切な手続きが取られたかどうか、肖像権、著作権、大学の出版物として適当な内容であるかどうかを確認しています。

大学教育ジャーナル編集委員会委員

編集委員長 : 藤井 恒人 (専任教員・大学教育センター准教授)
編集委員 : 佐藤 友久 (副センター長・大学教育センター教授)
 : 吉永契一郎 (専任教員・大学教育センター准教授)
 : 加藤由香里 (専任教員・大学教育センター准教授)
 : 下村 武史 (工学研究院教授)
 : 中村 暢文 (工学研究院教授)
 : 下田 政博 (農学研究院准教授)
 : 小宮 冬紀 (教育企画課)

東京農工大学 大学教育ジャーナル 第 10 号

2014 年 3 月

発行 東京農工大学 大学教育センター

編集 大学教育ジャーナル編集委員会